

高津高校 SSH 通信



人間工学 ワークショップ

「ウェルビーイングとシステム全体のパフォーマンスとの最適化を図るために、理論・原則・データおよび手法を設計に適用する専門分野」である人間工学。「人が関わっていることはすべて人間工学に結びつく」といえるほど幅広い分野の学問ですが、今回は身近なスマートフォンケースをテーマにして、生徒たちも人間工学的なモノの考え方を体験できていました。

はじめは自分の好みや使いやすさの話から入り、なぜそれを選んだか、機能やデザインなどを語ったり、人のケースを自分の視点で採点したりするなかで少し戸惑う様子も見られましたが、土井先生の適切な進行により、普段何気なく使っているスマートフォンケースに求めることが人によって違うことに気づき、当たり前の概念が変化していったと思います。また、ペインポイントや要求事項を5つの側面（身体的側面、時間的側面、認知的側面、環境的側面、運用的側面）から考えることは、課題研究にも必要なことだと感じました。さらに、意見をまとめて発表する場があったことで、アイデアだけでなく「考えた過程まで人に伝える」ということの大切さを生徒たちは実感していました。



文責：物理科 西本